

さんくす

発行:笠懸町第三区広報委員会

発行所:笠懸町第三区公民館

https://sannkusu-kasakake.com

sannkusu.kasakake@gmail.com

通学路合同点検実施

笠懸東小学校による通学路合同点検が、8月9日(月)午前9時に同校の会議室で行われました。当日は桐生警察、桐生土木、みどり市危機管理課、同建設課、学校教育課、東小校長、教頭、一区、二区、三区の各区長ら10名が参加しました。保護者からの要望改善は28か所に上りました。

藤生三区区長によれば「改善を望む28か所の写真をスライドで確認しました。また、教頭よりそれぞれの説明が行われたのちに、各組織の代表者の意見交換が行われた」とのことです。

笠懸東小学校周辺の通学路で特に注目されたのは阿左美アンダー工事の影響を受けている通学路で



す。伊勢崎県道交差点北側の横断か所の待機場所については、見守りの強化などの協力を求める強い要望が学校側からあったようです。

区長用資料によると、昨年と内容が変わらなく、改善されたところが少ないと感じます。学校と地域や関連機関が危機感を共有することは大切ですが、危険箇所の改善を早急に行うことが何よりも重要です。

阿左美バイパスの工事は通学路に大きな影響を与えていることから、阿左美アンダーの一刻も早い完成が望まれています。写真は5月頃の完成を目指す阿左美アンダー。2面に関連記事。

スクールゾーン

見直しの意見も

スクールゾーンが重要な役割を果たしていることを十分に理解した上で、その見直しを望む声も寄せられています。

現在のスクールゾーンは笠懸東小学校新設当時に定められたものが多いように推察されます。

それから40年以上経過し、農地の宅地化や人口増加、商業施設が増えるなど、地域の変化とともに通学路を取り巻く環境は大きく変化してきました。

寄せられた意見は「子どもの通学が終わり子どもが通らないにもかかわらず、スクールゾーンの時間内となっていて通行が出来ない。そのため経済活動に支障がある」というものです。

通学路は構造的な安全確保と同時に、そこで暮らす人たちが不便にならないよう、きめ細やかな運用も同時に考えてほしいものです。

散歩道(18) あすかホールグラウンドゴルフ場

あすかホールグラウンドゴルフ場は、現在は笠懸公民館南側駐車場に隣接して整備されていますが、笠懸町のグラウンドゴルフ場は初めから現在の場所に整備された訳ではなく、合併前は現在の社会体育館の場所にありました。

移転の経緯は、旧笠懸町の頃に新社会体育館の建設予定地が現在の笠懸グラウンド(旧総合グラウンド)の近くに決定されました。当時の笠懸町ではグラウンドゴルフは普及しておらず、コースも無かったことから、笠懸町の体育指導員の方達が町の了解を得て体育館建設予定地にグラウンドゴルフ場を整備しました。

当時のグラウンドゴルフ場は、体育指導員の皆さん



が整地を行ったり、朝集まって植栽を行ったりするなど、試行錯誤しながら手作りしたものだったそうです。

グラウンドゴルフ場が整備されて競技者も増え、普及を目的にグラウ

ンドゴルフ協会が設立されました。

競技実施のための作業も体育指導員から協会の関係者へ移管されていきました。

みどり市になり、現在の社会体育館建設計画が具体化し、グラウンドゴルフ場の取り壊しが決定しました。これをうけて、グラウンドゴルフ協会の方達は市にグラウンドゴルフ場の移転を申し入れ、現在の笠懸公民館の南側に移転整備され、平成19年に完成しました。

阿左美バイパス全線開通は6年度

工事が続く阿左美バイパスの進捗状況を調べてみました。完成間近に見える阿左美アンダーは既存の県道部分が直線ではないため、新設部分を通行できるようにした後に、掘削して阿左美アンダーを直線にするということです。新しい阿左美アンダーの供用開始は令和4年5月以降となる見込みです。

歩道橋に関しては県道を跨ぎ阿左美駅と繋ぐ部分については令和4年6月頃完成予定で、阿左美アンダーとほぼ同時期になるかも知れません。架線を跨ぐ部分については、東武鉄道の決済に時間がかかっているため、県道部分と架線部分との2期に工事を分ける可能性があります。

阿左美バイパスは東小学校の通学路とも深い関わりがあり、阿左美アンダーと歩道橋の工事が完成した段階で、まなび橋付近の既存の歩道橋を撤去するという段取りです。既存の歩道橋を撤去しなくては4車線化は不可能で、その間も道路整備が進められているため、阿左美下原十字路までの区間が歩道橋撤去とほぼ同時期に4車線化することになりそうです。

桐生警察署では阿左美アンダーを一方通行にしたいという意向があるようで、これについて12月22日(水)、午後7時から笠懸公民館で一・二・三の行政区主催による説明会が行われます。



右へ左へと蛇行する県道



環境協がパンジーを植栽

11月13日(土)午前9時より農地と水・阿左美地域環境保全協議会主催の景観形成事業として、小沼西側道路沿いに寒さに強い葉牡丹240鉢とパンジー310鉢を植栽しました(写真)。

当日は今シーズン最も冷え込んだ朝となりましたが、二、三区の行政区区長さんをはじめ、協議会構成員さん11人が参加しました。

パンジーは殺風景になりがちな秋から春まで花の少ない時期に長期間咲き続けるため、冬のガーデニングにはなくてはならない存在です。小沼周辺は散歩道として整備されています。様々な色合いのパンジーと、寒さにより色味が変わっていく葉牡丹を楽しんでいただけたと思います。

お知らせ 今年も新型コロナウイルス感染症による感染が懸念されたため、敬老行事と荒神山の下草刈りは中止となりました。

茶臼山・八王子山系ぶらり紀行(3) アキノタムラソウ

毎年、6月にジャケツイバラが咲き終わると、茶臼山に咲く花の種類はめっきり減ります。そんな中で、シソ科の山野草のアキノタムラソウ(写真)は7月から10月までの長い期間ハイカー達の目を楽しませてくれます。他にもツリガネニンジン、オクモミジハグマ等があります。

夏には多くの種類のキノコを見かけることができます。しかし、山の常連さん達に聞くと食用よりも圧倒的に毒キノコが多く、ほとんどの人は手を出さないとのことでした。

9月に興味深い情報を入手しました。従来多くの方がご存知の勝負沼手前の石切場とは別に、同規模の石切場跡が



あるとのこと。場所は黒石峠先の杉林から藪塚側の下ってゆく途中とのことですが、道がないらしく、記者はまだ確認できていません。木々の葉が落ちたら探検し、次号にて紹介させていただきます。

春にスズメバチトラップを紹介させていただきましたが、9月にも新たに働きバチをターゲットにして設置されていました。今年は例年の倍以上のトラップが設置され、いずれにも多くの働きバチが捕獲されていました。今年は大量発生したようですが、刺されたとの情報は1件もなくトラップ設置効果があったようです。

先行整備される下水道

ショッピングモール「アクロスプラザ笠懸」付近で下水道工事が行われているのを機に下水道工事について調べてみました。

みどり市下水道課の話では「令和8年度まで下水道整備に半額の国の補助金があり、将来的に利用が見込まれる道路に先行整備をしている」とのことでした。

今回工事された道路には上水道管の埋設がなく、下水が利用可能な家屋は1棟しかありません。上水道がなければ下水道に排水できないのは道理で、これについて群馬東部水道企業団みどり支所に確認したところ「予算がないので上水道の整備は出来ない」との回答でした。

下水道の配管工事完了後は、古い舗装を全て剥がし、再舗装されました。将来下水道を利用するためには、再度道路を掘削し、上水道の配管を行う事になります。下水道が整備されることは地域住民にとって歓迎すべきことですが、どこか釈然としない思いが積もる取材でした。



先行して整備される下水

新型コロナウイルス感染症ワクチン状況

全国の感染状況もしだいに落ち着きを取り戻すなか、今年10月15日まで国民の(8,331,005人、人口の約65.8%)が感染予防の新型コロナウイルスワクチンを2回摂取しました。ワクチン接種は第6波が懸念されることから、今後もしばらく続くことが想定されます。

みどり市笠懸地域では、4月末から笠懸公民館で75歳以上の高齢者にmRNAワクチン(ファイザー)の接種が始まりました。その後大規模接種会場(モデルナ)、指定地域の医療機関と年代別順にワクチン接種活動が行われてきました。

10月中旬のみどり市ホームページでは、77%以上の人が2回の接種を受けたという記載がありました。ところがこの間にも、変異株と呼ばれるウイルス種も現れ置き換わり現象が進み、先が見通せません。2回接種が基本ですが、高齢者や医療関係者などを対象に、3回目のブースター接種が始まる状況です。

みどり市では第4波の非常事態宣言下で、8月下旬に接種対象年齢が引き下げられ、12歳～15歳の市民にワクチン接種券の発送が始まりました。接種については保護者の立ち合いのもと、希望者に随時、指定医療機関やみどり市接種指定会場で接種が行われ現在に至ります。

今後も地域医療体制のひっ迫や、変異ウイルス感染の増加といった不安定な状態が続くことが想定されます。大切なことは今までどおり、マスクや、うがい、手洗いなど、私たち一人一人が感染予防対策を徹底することによって変わりはありません。

下水道マンホール図柄の由来

三区内の道路上でも「笠懸の武技」の図柄のマンホール鉄蓋をあちこちで見かけます。この図柄は笠懸町が合併する以前の公共下水道のもので、鎌倉時代に源頼朝が射術鍛錬として奨励し、町名の由来とされている「笠懸の武技」をかたどったものです(写真右)。

現在新たに設置されるマンホールの図柄は、みどり市のシンボルである「キジ・カタクリ・キク」を描き、自然の華やかさを表現したものとなっています(写真下)。市のホームページによると、平成29年度に桐生大学・みどり市連携協力事業の一環として、桐生大学短期大学部アート・デザイン学科の協力により、学生から応募された作品の中から最優秀賞となったものを採用したそうです。



現在はこの新しい図柄のマンホール鉄蓋が下水道工事にあわせて順次設置されています。また、みどり市では、この新しい図柄のマンホールカードを希望者に配布しています。マンホールカードは、カードの発行を通じて下水道の役割を知っていただき、各地に足を運んでもらいながら観光振興につなげていくことを目的として全国の自治体で作成され、無料で希望者には配布されています。

現在、およそ全国557自治体から717種類のカードが配布されているそうです。みどり市のマンホールカードも平成31年の配布開始以降、すでに5000枚が配布されたそうです。



さんくすがインターネットでも見られます
<https://sannkusu-kasakake.com>
 右のQRコードリーダーを読み込んでください



笠懸東小学校で稲刈り

10月14日(木)、午後2時から2時間ほどかけて、笠懸東小学校近くの水田(4アール)でモチ米苗の稲刈りが行われました。参加したのは、東小5年生85名と先生5名、保護者12名、地域協力者3名。

稲刈りは、5年生の5、6時間目を使う総合学習の一環で、6月の田植えにつづいての一連の作業です。コロナの感染予防のため、1班2組28名、2班1組29名、3班3組28名のクラス別3班に分けて、それぞれ30分交代の分散作業となりました(写真)。

秋晴れに恵まれ穏やかななか、地域の方々や先生、保護者、生徒たちが楽しそうに協力して稲刈りを行いました。一部バインダーの機械刈りの実技と手作業の注意説明を受けたのち、生徒たちは元気よく稲を刈り取りました。刈り取られた稲は準備された竿に天日干しを行い、無事に作業を終えました。



浅海八幡宮秋季例大祭

10月17日(日)浅海八幡宮において、秋季例大祭が執り行われました。例大祭とは季節の設目に行われる特別な祭り(春祭り、秋祭りなど)で地域の安全と発展、子孫の繁栄や五穀豊穡など包括して祈願するのが習わしとされています。

群馬県では緊急事態宣言が10月1日から解除されましたが、コロナ禍であり感染予防に努め、総代役員だけの自粛開催となりました。比呂佐和神社の中里宮司さんをお迎えし、地域の安寧と自然の恵みや収穫に感謝また、一日も早いコロナ感染症の終息を祈願しました。

9月より境内の参道や本殿前の階段や周囲の修復と雑草対策として山砂を敷くなど環境整備工事が終了しました。全体に明るくなった印象で、参拝者が気軽に立ち寄ってくださるよう、今後も維持管理に努めたいと総代役員が話していました。



事業所紹介(4) 古室歯科医院

当医院では平成12年より歯科医療を提供して参りました。

歯科の治療は痛みを伴うこともあり、辛い・苦しいというイメージが強くだなたも足が遠くなりがちかと思えます。

その中で来院された方に少しでも和んでいただける様にと、医院内外を問わず色々工夫をしています。工夫の一つとして花壇の整備を行っております。

春にはパンジーやビオラ、夏にはラベンダーや白く大きいアジサイ、秋には大輪のダリアが、冬でも雪の中小さなピンクの魚柳梅など、四季折々の花を植栽しております。散歩の途中、通勤通学時に花壇を眺めて気分が晴れやかにになり、地域住民の方々の健康がより一層増進する事を切に願っております。



ちょっとピンぼけ

今年9月の敬老の日に発表された日本国の総人口は、前年に比べ51万人減少している一方、65歳以上の高齢者数は3640万人。これは総人口比の29.1%にあたり、前年(3618万人)に比べ22万人も増加しています、過去最多を更新したそうです。

この2年間は、新型コロナウイルス感染の影響により、多くの地域で敬老祝賀会行事も中止が相次いでいます。その他、多くの行事も中止や活動自粛が続いているため、高齢者だけでなく65歳以下でも自宅から外出する機会が少なくなっている状況が続いていると思います。

このような生活はいつまで続くのでしょうか。今後の第6波に備えると言うのではなく、1日でも早く新型コロナウイルスの感染収束に向けて、決定権がある組織の対策を願うばかりです。

年末年始は犯罪も多くなる季節でもあります。みどり市防災・防犯情報メールに登録していますが、連日のように特殊詐欺に遭っている高齢者が多く見受けられます。高齢者はSNSの利用も少ないと思いますので、特殊詐欺の被害に遭わないよう日頃から高齢者への声掛けが必要であると思っています。